



様々な「ナカガワのナカガワ」

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

中川町商工会

【中川町】

ナカガワのナカガワをソトガワへ



はじまりは？

平成25年度に道の補助を活用して特産品開発事業を行い、中川町で作られた「ハスカップ」を使用した「ハスカップサイダー」を開発した事を機に、デザイナーを交えながら中川町のブランドである「ナカガワのナカガワ」を発売したことがきっかけでした。

既存の商品や新商品のパッケージを「ナカガワのナカガワ（中川の中側）」デザインで統一したり、どんなお店でも使えるように買い物袋や包装紙なども作成しました。商品だけでなく、中川町のパンフレットやポスターなどの広告物にもこのデザインが沢山使われています。

おもな活動

中川町商工会では、平成14年度より特産品開発事業を進めており、中川町ならではのモノを使用した特産品の開発や販路開拓・パッケージ支援を、町からの支援もいただきながら行っています。

「ナカガワのナカガワ」ブランドが確立した平成28年度には、「中川町交流情報発信拠点施設運営協議会」が発足。東京都世田谷区下高井戸商店街に、中川町サテライトスペース「ナカガワのナカガワ」をオープンしました。

現在は、伴走型支援事業を中心に、サテライトスペースの運営支援や東京都世田谷区等との交流を行っています。



サテライトスペース
オープンセレモニー

ここが自慢

【ナカガワの魅力、ソトガワへ発信中！】

「ナカガワのナカガワ」を通じて、古くから交流のあった下高井戸商店街振興組合の繋がりを基に、東京都世田谷区との交流を深める事ができ、さらに新たに日本大学文理学部との交流が始まりました。

また、特産品は勿論のこと、中川町の放牧牛から採れた牛乳を使用した「放牧牛ソフトクリーム」や、日本最北の野菜とされる中川町産のアスパラやカボチャなどをサテライトスペースにて販売し、中川町の魅力をお届けしています。

その他、町内の取り組みとしては3Rを利用したモニターツアーの開催や、林業の町として「KIKORI」ブランドが立ち上がり、さらに中川町を盛り上げる一つとなっています。



↑放牧牛と酪農家

日大×中川町→

連絡先

代表者名：片山 峯輝／設立：1961年／会員：103名

住所：中川郡中川町字中川400番地

電話番号：01656-7-2117

F A X：01656-7-2177

E-mail：midriver@rose.ocn.ne.jp

URL：http://nakagawashokokai.web.fc2.com/